

令和7年度只見町はたちの成人式



《特集》

只見町はたちの成人式 2～3

《News&Flash》 4

《町の話題》 5～7

今月の表紙

「令和7年度只見町はたちの成人式」

今年度、20歳を迎えた方、迎えられる方、誠におめでとうございます。

参加者は、久しぶりに顔を合わせる友人たちとの会話に笑顔があふれていました。(詳細：P2～3)



おめでとうございます!

令和7年度 只見町はたちの成人式

「令和7年度只見町はたちの成人式」が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、山村留学生20期生5人を含む32人が出席しました。昨年度まで「只見町成人式」の名称で行われていましたが、成人年齢の引き下げを考慮し、今年度から「只見町はたちの成人式」として実施しました。

式中の成人証書授与式では、参加者一人一人に渡部町長から成人証書が手渡されました。証書を受け取ると、家族やお世話になった方へのメッセージが読み上げられ、20年間の感謝や思いが伝えられました。

「先輩からのメッセージ」では、加藤正靖さん（南会津町立南郷小学校勤務）が「これまでの人生の中で、誰かに支えられ助けられたことを思い出し、自分にできることを考え、只見町のために行動を起こしてみしてほしい」と参加者にエールを贈りました。式の最後には、参加者を代表して、本名真歩さんが謝辞を述べました。

謝辞



代表謝辞 本名 真歩さん

本日は、私たちのためにこのような素晴らしい式を催していただき、誠にありがとうございます。

成人という大きな節目を迎えることができたのも、家族や先生方、地域の皆様からの温かい愛情やご指導のおかげです。

私たちは、現在、就職し仕事に奮闘している人、進学し勉強している人など、様々な人生を歩んでいる最中です。人間関係や環境が変わり苦戦している事もあると思います。そんな時は、私たちが生まれ育ち、たくさんの思い出や青春がつまったこの町を思い出してください。今まで支えてくれた家族や地域の方々、仲間が、皆さんの助けになってくれることでしょう。

私たちは20歳を迎えたとはいえ、大人と呼ばれるにはまだまだ未熟です。この先、迷うこともあると思いますが、自分達が今までやってきたことを信じて、それぞれの目標に向かって進んでいきます。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「18歳の酒」プロジェクト



「18歳の酒」プロジェクトとは、只見高校・南会津高校の3年生を対象に地元の「ものづくり」に直接に触れてもらいたいという思いにより始まったプロジェクトです。

高校3年生の時に「酒米づくり」と「酒造り」を体験します。できあがったお酒は2年間貯蔵し、プロジェクト参加者に成人式でプレゼントされます。

当日は、参加者を代表して梁取ももさんが、「18歳の酒」プロジェクト実行委員会の山内征久会長から「18歳の酒」を受け取りました。

はたちの成人式スナップ

式の前後では、高校時代を共に過ごした友人との久しぶりの再会を喜ぶ姿や近況を報告し合う姿などが見られました。また、恩師やお世話になった人などもお祝いに駆け付け、思い出話に花をさかせました。



農地利用最適化推進委員

| 氏名 | 住所 | 担当区域 |
|-------|------|---------------------|
| 新国 重弥 | 只見 | 石伏・只見・館ノ川・黒沢・叶津・八木沢 |
| 渡部 仁一 | 塩沢 | 蒲生・寄岩・塩沢・十島 |
| 堀金 太一 | 福井 | 楢戸・小川・下福井・上福井 |
| 本名 一貴 | 黒谷 | 黒谷 |
| 大竹 恒 | 熊倉 | 長浜・荒島・熊倉・亀岡・深沢 |
| 五十嵐大輔 | 小林 | 小林・大倉 |
| 鈴木 豪 | 二軒在家 | 梁取・二軒在家・塩ノ岐 |
| 湯田 次雄 | 布沢 | 坂田・布沢 |

農業委員会

| 氏名 |
|-------------|
| 小沼 一弘(職務代理) |
| 渡部 周一郎 |
| 長谷部 克則 |
| 目黒 美樹 |
| 渡部 理一 |
| 小島 宜是 |
| 吉津 榮一 |
| 山内 征久 |
| 馬場 大輔 |
| 齋藤 聡(職務代理) |
| 飯塚 春夫(会長) |

只見町農業委員と農地利用最適化推進委員が、任期満了に伴い改選されました。それぞれの委員は次のとおりです。

農地利用の最適化を目指して「農業委員」、「農地利用最適化推進委員」が決まる

将来の自分を考える「只見高校企業説明会」実施



▲永光建設(株)で新規事業への取り組みの説明を受ける高校生

町は「令和7年度只見高校企業説明会」を8月22日に実施しました。企業説明会には只見高校生9人が参加し、永光建設株式会社、介護老人保健施設こぶし苑(社会福祉法人南会津会)、株式会社社会津工場、株式会社季の郷湯ら里、南会津地方広域市町村圏組合消防署只見出張所、只見町役場を訪問しました。

同企業説明会は、これから進路を考える高校生が、町内にどんな企業があるかを知り、只見町で就職するきっかけづくりを目的としています。



▲サイクリングツアーを楽しむ参加者たち



◀モンベルイベントページにアクセスします

町はアウトドア体験ツアーの事業化を目指し、包括連携協定を結んでいる株式会社モンベルと共催で、「只見町の自然と食を満喫 奥会津を巡る E-バイクサイクリング」を開催しました。

サイクリングと6月に開催したカヤックは、今年度中にそれぞれ3回ずつの開催を予定しており、申込み受付中のツアーについては、町民の皆様への参加も可能です。

詳細や参加申込みについてはモンベルのウェブサイトのイベントタブからご確認ください。(左記の二次元コードからお申込みいただけます)

アウトドア体験モニターツアーの事業化を目指して「E-バイクサイクリング」開催



▲貴重なモノを見ることができます。この機会にぜひお越しください

昭和20年に(アジア・太平洋戦争)が終結し、今年には戦後80年にあたることから、ただみ・モノとくらしのミュージアムでは、特集展示「戦後80年 遺された(モノ)が語る戦争と只見」を開催しています。

只見町が収集してきた民具や文書には、戦争に関する(実物)モノが含まれています。本展では、寄せ書きのある日章旗や軍服、地元の小中学生から兵士への手紙など、戦争に関する(モノ)を展示しています。

展示は10月上旬まで開催予定ですので、ぜひご覧ください。

モノとくらしのミュージアム特集展示「戦後80年 遺された(モノ)が語る戦争と只見」開催中

ふるさと交流都市柏市との交流を深める

「柏まつり2025」に只見町チームが参加

ふるさと交流都市千葉県柏市の一大イベントである「柏まつり2025」が7月26日、27日に開かれました。

只見町チームは「伝統柏おどり」(26日開催)に参加し、柏市民を始めとした参加者らと交流を深めながら、「柏おどり」を踊りました。

柏市とのふるさと交流都市提携は今年で31年を迎え、これまでにそれぞれの住民がお互いのイベントを行き来したり、小学校では給食の食材交換が行われたりし、交流を深めています。



▲ステージ上で踊る只見町チーム



▲写真集を手渡す海野氏

自然に触れるきっかけに

カメラマン海野さんから 町内小中学校に写真集の寄贈

国内外の山岳などの自然環境を撮影しているカメラマンの海野友昭さんが、自身の撮影した写真集を町内小中学校に寄贈しました。

海野さんは「目標を決めれば高い所にも行くことができる。この写真集が子どもたちの、世界を目指したり、自然に触れたりするきっかけになると嬉しい」と話しました。

○海野友昭…福島県出身。高所山岳、極地での自然環境に魅了され、世界の極地の撮影を行うカメラマン。近年では、生きる事、環境問題にも焦点を当て活動している。

アートで広げる子どもの未来プロジェクト 「只見の夏のブナの森」展示中

JR只見駅舎内の待合スペース(只見BAUM)に、「只見の夏のブナの森」をイメージした作品39点が展示中です。

作品は、7月21日に開催されたアートワークショップ「ブナの森を泳ぐ」(主催:福島県/企画運営:県立博物館)で町内外の子どもたちがアクリル板にアクリル絵の具を使って描いたものです。

また、作品展示に合わせ、「只見BAUM」の看板もリニューアルされ、只見駅を訪れた人を楽しませています。



▲待合室を彩る子どもたちの作品

沿線で思いを繋ぐ 只見線子ども会議 自転車リレー

只見線子ども会議のメンバーが、8月10日にJR只見線沿線と会津鉄道会津線沿線を地域住民の思いと応援を背負い自転車で走りました。

メンバーは、県が検討を進めているオリジナル観光列車やリゾートしらかみ撫等の観光列車が来年以降も只見線に入線することなどを願い、ブナの木をイメージしたパネルに沿線住民からスタンプを集めながら、ゴール地点の会津若松駅で鉄道関係者らにパネルを渡しました。



▲メンバーの思いに共感し、スタンプを押す地域住民の皆さん

只見ランナーズ主催 「只見ランナーズ陸上教室」開催



▲メニューをこなす参加者たち

只見ランナーズは、町内在住者を対象とした「只見ランナーズ陸上教室」を8月12日、18日に開催しました。

陸上教室では、只見ランナーズ会長の矢沢裕也さんとJAAF公認ジュニアコーチの渡部一昭さんがコーチを務め、走るための基礎練習（全体練習）後、長距離走と短距離走に分かれての専門練習が行われました。

教室には延べ20人以上が参加し、走るための基本的な体の使い方やフォームなどを学びました。

多世代交流のきっかけに 「eスポーツ体験交流会」

福島県の『eスポーツによる「ふくしま」活性化事業』を活用した「eスポーツ体験交流会」が8月24日に只見公民館を会場に開催されました。

イベントは、町教育委員会の主催で行われ、ぷよぷよ（同じ色の玉【ぷよ】を4つ以上繋げて消すというゲーム）、太鼓の達人（流れる音楽に合わせて、譜面通りに演奏するゲーム）が用意されました。

参加者は「難しいと思って敬遠していたが、やり方を覚えると思ったよりも楽しめた。機会があれば、友人や家族にも勧めたい」と感想を話しました。

10代以下から80代まで幅広く参加者が集まり、eスポーツを通じて多世代での楽しい交流となりました。



▲世代を超えて楽しむ参加者たち

帰省者、地元住民らが集まる

明和青年団主催「明和地区大盆踊り」開催



▲盆踊り主催した明和青年団と有志の皆さん

毎年恒例となっている「明和地区大盆踊り」は8月15日に、明和青年団の主催で開催されました。

明和地区大盆踊りでは、参加者に配布される抽選番号付きうちわを使ったお楽しみ抽選会や、打ち上げ花火が行われました。また、会場で友人と再会し思い出話や近況報告をする帰省者らの姿も見られ、参加者らは思い思いに盆踊りを楽しみました。

河井継之助の最期に思いを馳せる

「河井継之助墓前祭」が行われました

只見町で最期を迎えた長岡藩の家老河井継之助をしのぶ「河井継之助墓前祭」が、河井継之助の命日となる8月16日に医王寺で行われました。

墓前祭では、渡部仁一実行委員長より参列者への感謝などが述べられた後、読経が行われ、参列者は河井継之助の最期に思いを馳せました。また、追悼の言葉として、渡部町長が「河井継之助の志を学び、繋ぐとともに、越後と会津の絆を深め、共に発展していきたい」と述べました。



▲長岡藩17代当主の牧野氏も参列されました

9年ぶりに只見町へ

「風とロックCARAVAN福島」公開生放送



▲楽しいトークとライブを届けた出演者の皆さん

風とロック、福島民報社、ラジオ福島が主催する「風とロックCARAVAN福島」の公開生放送は8月23日に只見公民館で開かれ、トークショーやライブ演奏が行われました。

メインMCに箭内道彦さん、ゲストアーティストに藤井敬之さん（音速ライン）、松田信二さん（THE BACK HORN）、成瀬瑛美さん、大竹涼華さんが出演し、ねっかの脇坂斉弘さんと渡部町長がトークショーの地元ゲストを務めました。

只見町での開催は、平成28年から約9年ぶりの開催となりました。



町民文芸

只見短歌会 令和七年八月詠草

眠る子を起こすが如に芋掘れば福助ふくべひょうたん形も
目黒 富子

処暑なるも残暑厳しき日々にして涼しき風は肌を吹きゆく
関谷登美子

風鈴の音にまどろむ我が息子ひと夏の午後涼風わたる
立花 奏音

そちこちに聞きて作りし冷やし汁炊きたてご飯にかけると知らず
新国由紀子

忘れがたき思ひ出をもつ品なれど増えゆく物に断捨離悲し
渡部ヨリ子

只見俳句会 八月定例会

手花火や孫の歓声闇を突く
謝りて年に一度の墓掃除
修 一
猛暑かなネコの居場所も扇風機
新緑をのぞきみしたる深呼吸

刻々と炎暑を刻むユニホーム
七月や行列続くコンサート
都
藪の中水音走る青胡桃
日没の山陰となる鳥とり威し
礼

蓮一輪咲きて本堂しもれり
上気して清書する子や蟬時雨
一 恵

葡萄棚甘き香漂うテイクタイム
割れトマト手塩の畑に酷暑かな
真理子

今月のお知らせ

お知らせ

聴覚障がい乳幼児子育て相談

福島県立聴覚支援学校会津校では、聴覚障がい乳幼児子育て相談「みみちゃん教室」を開設しています。

言葉を育むには早期からの楽しいかわりが大切です。お子さんの様子や相談内容に応じて、一緒に遊ぶ中でコミュニケーションを促し、聞く姿勢や言葉を育てるお手伝いをします。

【日時】

平日 午前9時～午後4時
※年末年始及び祝日は休み

【場所】

会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原102

電話番号

| | | |
|----------|--------------------|----------|
| 総務企画課 | 財政係 | ☎82-5210 |
| 総務係 | 企画係 | |
| 町民生活課 | 町民税務係 | ☎82-5110 |
| | 生活安全係 | ☎82-5100 |
| 保健福祉課 | 保健係 | ☎84-7005 |
| | 福祉係 | |
| 成年後見センター | | ☎84-7010 |
| 農林建設課 | 農林係 | ☎82-5230 |
| | 建設係 | ☎82-5270 |
| 交流推進課 | 観光交流係 | ☎82-5240 |
| | 商工労働係 | |
| | ユネスコエコパーク推進係 | ☎82-5963 |
| | (ただみ・ブナと川のミュージアム内) | |
| 会計室 | | ☎82-5120 |
| 只見保育所 | | ☎82-2219 |
| 認定こども園 | | ☎84-2038 |
| 明和保育所 | | ☎86-2249 |
| 朝日診療所 | | ☎84-2221 |
| (歯科) | | ☎84-2612 |
| こぶし苑 | | ☎84-2101 |
| 只見公民館 | | ☎82-2141 |
| 朝日公民館 | | ☎84-2111 |
| 明和公民館 | | ☎86-2111 |
| 教育委員会 | | ☎82-5320 |
| 学校給食センター | | ☎84-7180 |
| 議会事務局 | | ☎82-5300 |
| 農業委員会 | | ☎82-5230 |

聴覚支援学校会津校内 地域支援センターみみらんど會津

【対象】

きこえやことばに心配がある乳幼児とその保護者

【お問合せ】

電話 (FAX兼) ..

0242-2211286

メール: fukushima-sd-aizu

@fcs.ed.jp



聴覚支援学校会津校ホームページ

9月・10月

「行政相談月間」

総務省では、9月及び10月を「行政相談月間」と定めています。

行政相談とは、国をはじめ、

都道府県や市町村行政に関する意見・要望など、どこに相談したらよいのか分からないものを含め、幅広い分野の相談を受け付け、相談内容の解決、行政の制度・運営の改善を図る仕組みです。

行政相談月間に合わせて、臨時相談窓口を開設します。

【日時】

10月20日(月)

午後1時30分～3時まで

【会場】

朝日公民館農事研修室

【只見町担当行政相談委員】

目黒 真弓さん (小川)

【その他】

相談は無料で、予約不要です。秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

税 今月の納期

9月25日までに納めましょう

- 国民健康保険税(3期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)
- 介護保険料(3期)
- 後期高齢者保険料(2期)

むし歯のない子

(3歳児検診 8月5日)



めくろ たいよう 目黒 太陽くん (只見)



こほり ひなのさん (蒲生)



かわらた まお 河原田 茉緒さん (梁取)



ほそや ゆいか 細谷 唯衣花さん (只見)





只見町商工会連携企画

ただみの今を支える人たち

当企画では、只見町商工会から推薦をいただき、毎月1事業所づつ紹介していきます。

株式会社川原田商店 代表取締役会長

川原田 紹二さん

地域の暮らしを支え続ける川原田商店。その歩みは、和菓子の製造・販売から始まり、時代とともに形を変えながらも、常に地域のためにという思いを貫いてきました。

「創業のきっかけを教えてください。」

「私自身は、昭和49年に結婚を機に川原田商店に入りました。もともとは昭和18年創業で柳屋 川原田商店として和菓子を作っていたのですが、昭和30年代ころから生活に必要なものを少しずつ扱うようになりました。平成4年に法人化し、株式会社川原田商店になり、平成12年には店舗を新築して、ヤマザキシヨップとしてスタートしました」

時代の流れとともに、品揃えやサービスも変化し、扱う商品が売れなくなったり、在庫を抱えるのが難しくなったりと、苦渋の選択を迫られることもあったそうです。それでも、地域の声や時代のニーズに応えたいと続けてきました。

「日々の仕事で大切にしていることは何ですか？」

「豊かな暮らしのお手伝い」という言葉を大事にしています。物の豊かさだけじゃなく、心の豊かさも地域で共有していきたい。お客様と接する中で、何が役に立つのか、何が時代に合っているのかを常に考えています」

地域との関わりも深く、商工会や集落の役員として活動する中でみんなで協力することの大切さを学び、それを次の世代にも伝えていきたいとも話してくれました。

「これからの目標などを教えてください。」

「商店経営は本当に難しい時代になってきました。先のことを考えすぎず足踏みしてしまつこともありますが、でも、今なすべきことを見誤らず、行動に移すことで続けていけると思っています。これからも、時代に合ったものを提供できるように頑張りたいですね」

川原田商店は、ただ物を売る場所ではなく、地域の人々の暮らしに寄り添い、心を通わせる場所となっています。

○ヤマザキシヨップ川原田商店

住所：南会津郡只見町小林下前田445
営業時間：午前7時～午後8時
食料品だけでなく、衣料品や日用品など幅広い商品を取り扱っている。



▲店名の上に掲げられている信念

9月下旬～10月のイベント情報

9月27日(土)、10月25日(土)

「民話茶屋」

只見町で語り継がれてきた昔ばなしを只見町昔ばなしの会の方々が只見弁で語ります。

【時間】 午前10時30分

【場所】 ただみ・モノとくらしのミュージアム いろいろの間

【問合せ先】 ただみ・モノとくらしのミュージアム (TEL 0241-86-2175)

10月4日(土)～5日(日)

「自然首都・只見 水の郷うまいもんまつり」

只見町内や近隣町村からうまいもんが大集合。ステージイベントやはたらく車の展示も行います。大好評の田子倉ダムツアーも開催予定です！

【時間】 4日 午前10時～午後7時
5日 午前10時～午後3時

【場所】 只見線広場（JR只見駅前）

【問合せ先】 自然首都・只見 水の郷うまいもんまつり実行委員会 (只見町商工会内)

(TEL 0241-82-2380)

10月12日(日)

「只見町駅伝競走大会」

今年で59回となる歴史ある駅伝大会です。只見駅周辺を周回するコース6区間をタスキで繋ぎます。1区間2.2～2.6kmと短く、初心者でも風景を楽しみながら走ることができます。沿線での応援もお願いします。

【時間】 午前7時30分受付 午前8時30分受付

【場所】 只見町役場町下庁舎前スタート

【申込み締切】 9月18日まで

【問合せ先】 只見町教育委員会

(TEL 0241-82-5320)

※編集時点における開催予定になります。詳細は各問合せ先にて確認ください。

町民の消息

(7月26日～8月25日届出分)敬称略

■おくやみ申し上げます

| | | | |
|----|-----|------|----|
| 山内 | ナヲエ | 85歳 | 小林 |
| 渡部 | 孝 | 86歳 | 黒谷 |
| 角田 | スミ子 | 94歳 | 小林 |
| 目黒 | マユミ | 102歳 | 石伏 |



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和7年8月1日現在

| | | |
|------|---|------------|
| 人 | 口 | 3,476 (-6) |
| 男 | | 1,737 (+1) |
| 女 | | 1,739 (-7) |
| 世帯数 | | 1,501 (+2) |
| 高齢化率 | | 48.4% |

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 8 転出 7 出生 0 死亡 7

▽今年度、20歳を迎えられた方、迎える方、おめでと〜ございます。大きな夢に向かって頑張ってください。

▽ふるさと交流都市千葉県柏市の柏まつりで、只見町チームが踊りを通して、町のPRや参加者との交流を深めました。こうした交流が長く続くと良いですね。

▽商工会と連携して、町内の事業所を紹介する企画がスタートしました。商工会から推薦(紹介)していただいた方からお話を聞いて、よろしく願います。(小林)

あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

朝日公民館 図書紹介

朝日公民館図書室
☎84-2111

おすすめ新着図書

★クロエとオオエ



【著】有川ひろ(講談社)

横浜で三代続いた宝石商の嫡男・大江頼任と、彫金を家業とする職人の娘・黒江彩。最初のデートで頼任が贈ったリングを突き返してから、二人の関係は「メシ友」と「恋人」の間で謎のまま。頼任の店のお得意様のプライダルジュエリーのオーダーを皮切りに、クロエがジュエリーデザイナーを引き受けるようになってから、二人の関係性が変わっていく。宝石をのぞくと見える美しい別世界。これを表現できるのは彼女だけ。

★ほどよく忘れて生きていく



【著】藤井英子(サンマーク出版)

心はカラッと、人づきあいはサラッと、人生はさっぱりと。89歳で開院、いまなお現役。「また寄りたくなる」と評判の漢方心療内科医の“軽くなる”生き方指南書。心とからだをラクにする「処方箋」。

目次

1章「人間関係」はほどよく忘れる(「折り合い」は忘れる；

「みんな仲よく」は忘れる ほか)

2章「自分をいたわる」は忘れない(ほどよく「忘れる」をよしとする；「本当の原因」を見つける ほか)

3章「過去」はほどよく忘れる(「経験」を忘れる；「よかった過去」もほどよく忘れる ほか)

4章「小さな挑戦」は忘れない(やりたいこと「だけ」をやる；「呼ばれたい名前」で呼んでもらう ほか)

○朝日公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。





只見の名前を冠する生き物 タダミハコネサンショウウオ

只見町では、これまでクロサンショウウオ、トウホクサンショウウオ、ハコネサンショウウオの3種のサンショウウオが知られていました。しかし、晩秋から初冬に産卵する珍しい個体が見つかり、国立科学博物館の吉川夏彦研究員らの調査により2014年9月に新種「タダミハコネサンショウウオ」として記載されました。その発表から10年が経過しました。

タダミハコネサンショウウオは、近縁種のハコネサンショウウオに比べ体に黄色の筋がなく全体に黒っぽい姿が特徴です。しかし、その生態については不明な点が多く、現在、吉川研究員と筑波大学の研究者が調査を行っています。タダミハコネサンショウウオは環境の変化や乱獲に弱い繊細な生きものですが、只見町の自然の豊かさを象徴する存在でもあります。大切な自然と共にこの貴重な生きものを未来へ受け継いでいくことが求められています。



▲ 溪流に生息するタダミハコネサンショウウオ

只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。

■ 企画展 「豪雪に育まれた豊かな川辺の生態系」

会期：2025年7月19日(土)～2025年12月1日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

※この広報紙は再生紙を使用しています

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています